

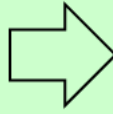
# 露地野菜の規模拡大による収益性の向上と農薬・化学肥料を削減した野菜生産 ～有限会社 ゴトーアグリ（愛知県扶桑町）～

## 経営体の概要

平成7年

基幹作物：だいこん、にんじん、  
とうもろこし

経営面積：5.5ha



平成29年

基幹作物：だいこん、にんじん、  
キャベツ、はくさい

経営面積：24ha

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

昭和40年代に畑地かんがい整備され、随時、水が利用できるようになり、かん水管理も容易となったことから、労働時間や労働費の削減につながった。特に、盛夏に播種する秋冬にんじん等は、降雨の少ない年は播き直ししていたが、パイプライン化されてからは、いつでも播種できるようになった。減農薬・減化学肥料栽培に取組ながら、規模拡大による収益性の向上を図っている。

## 営農改善のポイント

### ①規模拡大による収益性の向上

離農する農家等からの依頼を受けて農地を借り受けており、経営面積は増加傾向で推移している。これまでの発展は、規模拡大に依るところが大きく、今後も農地を借りて規模拡大を進める方針である。

### ②農薬・化学肥料の削減の取組

農薬の削減に取り組むとともに、化学肥料の使用を削減するため、近隣のライスセンターから粃殻を、養豚・養鶏業者から豚糞・鶏糞を入手し、堆肥を作りほ場に投入している。また、都市近郊でほ場と住宅地が隣接していることから、飛散防止ノズルの使用等、農薬飛散(ドリフト)低減対策を徹底する等、安全・安心な農業生産に取り組んでいる。

### ③市場価格に左右されない出荷体系の構築

以前は、全量を市場出荷していたが、市場価格の乱高下の影響を受けていたことから、会社経営を安定させるため、契約販売に移行した。現在は、契約販売により、仲卸を中心に給食センター、漬物製造業者、カット野菜業者に出荷している。規模拡大と出荷体系の見直しにより、平成28年の売上は、平成14年の約3倍に増加した。



後藤康明代表取締役



にんじん収穫作業



キャベツ ほ場

## 事業概要

事業種：国営総合農地防災事業

関係市町：岐阜県岐阜市外2市2町及び  
愛知県名古屋市外12市5町

受益面積：10,139ha

事業期間：平成10年～平成34年

事業目的：農業用排水施設の機能回復

主要工事：頭首工改修1箇所 用水路改修 L=32.0km  
排水路改修 L=27.3km

### 位置図



### <問い合わせ先>

東海農政局  
農村振興部農地整備課  
営農指導係  
電話：052-223-4638

(平成29年度調査時点)